



手塚治虫
おもしろくてやくにたつ
子どもの伝記 16
国松 俊英／文
ボフラ社
1998年 ¥880

「鉄腕アトム」「ジャングル大帝」など、手塚治虫がうみだしたマンガは七百あまり。手塚治虫の作品には、いのちをたいせつに思う気持ちと、未来への夢がたくさんつまっています。クイズつきで手塚治虫の秘密がわかります。○



バッテリー
あさの あつこ／作
佐藤 真紀子／絵
教育画劇
1996年 ¥1400

もうすぐ中1になる巧は、昔高校野球の監督だった祖父も認める剛速球投手。捕手としてすぐれた同じ年の豪とバッテリーを組んで練習している。体の弱い弟の青波も野球に興味を持つ。自信の強い巧と優しい豪の野球への思いは熱い。○



森は生きている
富山 和子／著
講談社
1994年 ¥1400

日本人と森との長いかかわりについて述べ、森林は人間が育てたこと、森林がさまざまな働きをして人間に恩返しをしてくれること、なかでも森林が作り出す土こそが人間を守ってくれることなどを語っている。○



十五少年漂流記
ジュール＝ベルヌ／著
那須 辰造／訳
金 斗鉉／絵
講談社
1990年 ¥720

1860年3月、あれくるう南半球の海上で、1そうの船がさまよっていました。船の名はスラウギ号。乗船者は15人の少年だけ！漂着したのは名も知れぬ無人島でした。知恵を出し合って生き抜かなければ……。



マヤの一生
椋 嶋十／著
吉井 忠／絵
大日本図書
1978年 ¥1000

犬のマヤと、家族は仲良くぐらしていました。戦争が激しくなると、村に残った犬はマヤだけになりました。今まで何とか断っていたのですが、殺されることに。その夜、マヤは最後の力をふりしほり……。

2017年1月発行
大洲市小中学校
大洲市立図書館

学校の先生たち
おすすめ

子どもとともに 本をひらく 未来のページ
(『大洲市子ども読書活動推進計画』より)

うちどく ブックリスト

小学校
高学年版



「うちどく(家読)」とは、家族で読書すること。家族みんなで本を読んで、その本について話したら、それが「うちどく」です。

「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！



長友佑都
世界の左サイドバック
本郷 陽二／編
汐文社
2015年 ¥1500

イタリアを代表するチーム「インテル・ミラノ」でギュラーに定着し、世界を舞台に大活躍する長友佑都選手。愛媛のサッカー少年が、「世界一のサイドバックになる」という夢に近づいていく姿を紹介します。○



野村萬斎と狂言を観よう
野村 萬斎／監修
小野 幸惠／著
岩崎書店
2015年 ¥3000

狂言は、日本の伝統芸能のひとつで、中世の喜劇です。狂言師の野村萬斎先生が、狂言の動きや仕草、声のだし方、代表的な面、型の使い方、おすすめの演目など、狂言の世界をわかりやすく説明します。○



ぼくのニセモノをつくるには
ヨシタケ シンスケ／作
ブロンズ新社
2014年 ¥1400

しゅくだいやおてつだい、やりたくないことをやってもらおうと、ぼくはじぶんのニセモノをつくることにした。おみせでかったおてつだい口ボットに、ぼくそっくりになってもらおうと、じぶんについてせつめいをはじめると、「じぶんらしさ」や「みんなからみた、じぶん」についていろいろかんがえて…。○

<p>ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。 石井光太／文 ボブラ社 2013年 ¥1500</p> <p>2012年、パキスタン北西部のスワートで、15歳の少女、マララ・ユスフザイさんが銃で頭を撃たされました。子どもが教育を受ける権利を主張しつづけるマララさんが、国際連合で行った演説を紹介するとともに、なぜ子どもが学校に通うか、その意味を考えます。 ○</p>	<p>竹取物語 伊勢物語 21世紀版少年少女古典文学館 2 北 杜夫／著 俵 万智／著 講談社 2009年 ¥1400</p> <p>読みやすいルビつき、カラーさし絵、本文中の豊富な用語解説で、日本の古典文学にはじめて出会う子どもの理解を助ける、児童向け古典文学全集。2は、「竹取物語」と「伊勢物語」を収録。 ○</p>	<p>犬たちをおくる日 今西 乃子／著 浜田 一男／写真 金の星社 2009年 ¥1300</p> <p>その命、永遠に忘れない…。 愛媛県動物愛護センターで、飼い主に捨てられた犬たちを大切に思いながら、「殺処分」という仕事に立ちあつている職員の人たちの日常を紹介し、命の尊さについて伝えます。 ○</p>	<p>国境なき医師団とは 写真絵本国境なき医師団 1 国境なき医師団日本／監修 大月書店 2005年 ¥1800</p> <p>「国境なき医師団」は1971年12月20日にフランスの医師たちによって創られました。世界19カ国に支部を持つ国際的な民間援助団体です。第1巻では、「国境なき医師団」の誕生、組織、活動内容を紹介しています。子どもたちの栄養状態を調べる「命のうでわ」のこと、安全な水の確保、予防接種のことなどが解説されています。 ○</p>	<p>都会にすみついたセミたち 虫から環境を考える 3 武田晋一／写真・文 海野 和男／写真・文 偕成社 2005年 ¥2000</p> <p>福岡のクマゼミと東京のミンミンゼミが、大発生しています。都会にはセミが好きな街路樹が多くて、木と一緒に持ち込まれることが多く、外敵も少なく、乾いた土にも強いことが、適応した理由だそうです。一方、都会で減ってしまった種類のセミもいます。透明感のある、美しい写真で、セミの生態を観察することで、環境問題を考えています。 ○</p>	<p>月夜のバス 杉 みき子／作 黒井 健／絵 偕成社 2002年 ¥1200</p> <p>月夜の海沿いの国道。横断歩道で、少年は通過したバスの中を見て息をのむ。青い水で満たされ、さまざまな魚たちが泳いでいたのだ…。青い闇と黄色い光芒が美しい魅惑の幻想絵本。 ○</p>
<p>チームふたり 吉野 万理子／作 宮尾 和孝／絵 学研プラス 2007年 ¥1200</p> <p>東小学校6年の大地は卓球部のキャプテンだ。大地は、小学校最後の市大会でベスト8に入って県大会に出たいと思っていた。ダブルスは、6年の誠と組みたい。ところが顧問の辻先生は、大地と5年の純を組ませた。バスの運転手をする大地の父親は思わずことで失業してしまう。学校でも家でもなやむ大地だが…。 ○</p>	<p>十歳のきみへ 日野原 重明／著 富山房インターナショナル 2006年 ¥1200</p> <p>今十歳になったきみたちに ぼくは言いたい ぼくにもきみたちのような十代があったことを そしてぼくが今年十月九十五歳になれるのは ぼくがみんなから支えられてきたためだということを いのちとは、家族とは、人間とはなにか。日野原重明先生からのメッセージです。 ○</p>	<p>ホームランを打ったことのない君に 長谷川 集平／作 理論社 2006年 ¥1200</p> <p>ぼくはホームランを打ったことがない。今朝の試合もここ一番でホームランを打とうとして力んでしまい、ボテボテのセカンドゴロ、負けちゃった。その試合を見ていた近所の仙吉さんに声をかけられた。ホームランを打つには地道な努力が必要なこと、夢をあきらめないこと。そしてそれは仙吉さん自身にむけられた言葉でもあった。 ○</p>	<p>西の魔女が死んだ 梨木 香歩／著 新潮社 2001年 ¥460</p> <p>「西の魔女」とは、まいの祖母のこと。学校へ行けないまいは、いなかの祖母のところで生活することになりました。自然を身近に感じながら、心地よい生活が始まります。まいの心はゆっくりいやされていきます。 ○</p>	<p>銀河鉄道の夜 宮沢 賢治／作 田原 田鶴子／絵 偕成社 2000年 ¥1800</p> <p>銀河ステーションから夜の軽便鉄道に乗ったジョバンニとカムバネルラ。「人々みんなの本当の幸せは何か」を考え求めながら、さまざまな場所へ不思議な旅をする少年達の物語。 ○</p>	<p>雪の写真家ベントレー ジャクリーン・ブリッグス・マーティン／作 メアリー・アゼアリアン／絵 千葉 茂樹／訳 BL出版 1999年 ¥1400</p> <p>アメリカの、大雪がふる小さな村に生まれ、雪のけんきゅうに一生をささげたウィリー・ベントレーの伝記です。雪の結しおを写真にとり、世界中の人々に雪のうつくしさをつたえました。 ○</p>